

地方創生に向けた取り組み

OKBは地域活性化に貢献すべく、さまざまな角度からサポートに取り組んでいます。

大垣市から「企業版ふるさと納税支援等業務」を受託

今年10月、大垣市から「企業版ふるさと納税支援等業務」を受託しました。本業務は、大垣市が取り組む子育て支援の充実や観光の振興、災害に強いまちづくりなどさまざまな地方創生事業の充実・強化を図るためのものです。今後は、OKBが取引先企業などに同市の事業や企業版ふるさと納税制度を紹介し、寄付へとつなげていきます。



▲(左から) 境頭取、石田 仁 大垣市長

地域のキャッシュレスを推進

OKBグループは地域のキャッシュレス化を推進しています。今年8月には岐阜県神戸町に対して、キャッシュレス分野で提携しているGMOペイメントゲートウェイとともに、同町独自の決済アプリ「ごうどPay」の導入をサポートしました。

同アプリのQRコード決済機能を活用して、神戸町が発行するプレミアム商品券を電子化し、利便性の向上に貢献しました。

神戸町に導入した「ごうどPay」▶



アウトドアフィールド構想の策定

岐阜県揖斐川町の「アウトドアフィールド構想策定事業」をOKBグループのOKB総研が受託し、同町の豊かな自然を活かした町の魅力向上に取り組んでいます。今年7月、スノーピークと連携して同町の文化や食、ものづくりを体験する「LOCAL LIFE TOURISM」を実施しました。

自然のなかで行うキャンプ設営をはじめ、町内事業者とともに薬草や草木で行う「薬草染め体験」、ジビエの「オリジナルソーセージ作り」、地元食材を使用した料理の提供などを通じて同町の観光資源の魅力向上を図りました。



地域商社機能

地域事業者の商品開発やブランド力向上などをサポートする“地域商社機能”を活かした取り組みを積極的に展開しています。

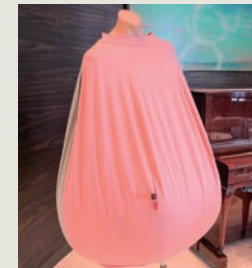
今年6月には、東海エリアで分譲住宅を提供するエサキホームの新たなライフスタイル提案プロジェクトの立ち上げをサポートしました。地域事業者とデザイナーがコラボして制作したクッションや衣服、木端材を活用した家具などをハウスメーカーのエサキホームが提供することで、新たなブランディングと高付加価値化に取り組むものです。

10月には、松坂屋名古屋店と連携し、展示販売イベント「LIFE STYLE FES. presented by OKB大垣共立銀行」を開催しました。

これまで地域商社機能を活用してサポートした地域事業者などが出店し、自社の商品やブランドの認知度拡大、新商品のプロモーションを行い、新たなファン獲得につなげました。



エサキホームのプロジェクトで制作したプロダクトの一部



▲尾州の生地を使用した着るビーズクッション



▲有松絞りの技法を用いた衣服とバッグ



▲松坂屋名古屋店のイベントに出店した代表者ら

OKBブランド200号突破！

大垣共立銀行（Ogaki Kyoritsu Bank）の頭文字を冠した「OKBブランド」が今年9月、200号を突破しました。OKBブランドには、OKB単独のものだけでなく、地域事業者などと連携した施設や商品・サービスなどもあり、OKBブランドとして自社の商品を販売することで、自社の認知度向上や販路拡大が図れます。

